

授産所だより

社会福祉法人 京都総合福祉協会
京都市紫野障害者授産所
・就労継続支援B型 さくさく工房
・生活介護事業 菜の花



年度が新しくなりました。利用者さんも職員も新しい風として感じる季節です。お互いの体験がひとつの共有財産となるまでしっかりお話ししていきましょう。



就労継続支援B型 さくさく工房

したうけはん * 下請班



春になって新しい年度がはじまり、がんばっています

下請班は新年度を迎え、観光シーズンに向けて販売されることになる「ちっちゃいきつねせんべい」・「和っふるミックスせんべい」の袋・箱つめ作業に頑張りました。
「ちっちゃいきつねせんべい」は、観光客の多い伏見稲荷神社の境内で売られている「きつねせんべい」を箱詰めしたものです。京都駅新幹線の改札を入った所のお店で販売されるそうです。「和っふるミックスせんべい」は、メープル味と抹茶味の和っふるせんべいです。観光シーズンに向け、多く売れるように頑張っています。



みなさん！ぜひ私たちがつめた煎餅を見に行ってください。よろしくお願ひします。

せい か てん ぼ はん * 製菓・店舗班



さくさく^{こうぼう}工房のロゴができました！

さくさく^{こうぼう}工房にカフェスペースができて5年が経ちました。5年間を振り返り、作業の内容や今後のことについて考える機会がありました。そのなかでさくさく^{こうぼう}工房のことをもっと知ってもらおうと、わかりやすい、さくさく^{こうぼう}工房らしいロゴを作ることになりました。ロゴを作るために「日々の作業で大切にしているもの、これまでに大事にしてきたこと、さくさく^{こうぼう}工房らしさとは何か」など、話し合いながら進めていきました。出てきた意見としてクッキー（お菓子）のお店とわかるようなロゴ、さくさく^{こうぼう}工房らしさを表現したい、プロ意識、モチベーションが上がるようなロゴ、京都とわかるようにして土産ものに使ってもらいたい、多種多様な人々を表したいといった意見が出ました。出てきた意見をもとにデザイナーさんと相談しながら何度も試行錯誤し完成しました。



かんせい
完成したロゴです！

「さくさく」という文字を人に見立てたロゴになりました。また、法人の理念にもある『共生を目指す』ことをベースに、作り手であるさくさく^{こうぼう}工房の皆さんが自分たちの得意なことを生かして一生懸命働いてらっしゃる姿と買い手である地域の皆さんが美味しいクッキーを食べている姿を表したロゴになりました。

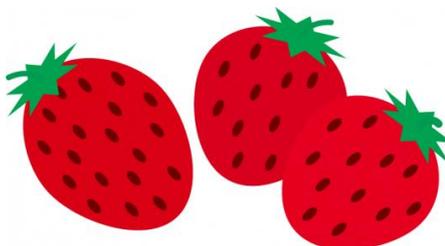
このロゴを見て「さくさく^{こうぼう}工房のクッキー」を多くの方に知って頂けるように、様々な場面でロゴを展開していく予定です。皆さんに愛されるロゴになるように育てていきます。

はる げんてい 春の限定クッキー



春の限定商品として毎年「さくらのクッキー」を製造・販売しています。春になるとさくらのクッキーの問い合わせがあるほど、ファンのお客様がおられます。

今回、さくらのクッキーに加えていちごのクッキーを販売しました。焼き上がりもほのかにピンクのクッキーです。現在、期間限定で販売中です。ぜひお買い求めください。





生活介護事業 菜の花



■ しつないへん 室内編 ■

時間の経過速度は変化することはないのに、年をとる度に早くなっていると感じてしまうのは、新しい物事や自分の変化を感じる機会が減っているからなんだとか……。けど楽しい時はあっという間に時間が経ちますし、しんどいなと思う時は時間が経つのが遅いなと感じたりもします。

年齢・役割・性格・健康状態によって時間を感じる速度は十人十色だと思えます。個人の時間を尊重し、日々新鮮な物事に触れてもらうことが、職員の役目だと感じます。

なのはな・ちいさな・おうち展を開催しました。

毎年恒例の「なのはな展」は、今年も多くの方々にきていただき、大好評のうちに幕をおろしました。今年は「なのはな・ちいさな・おうち展」と題し、事業所の店舗である「さくさく工房」の前にある小さな芝生の庭に皆がペイントしたテントを飾りました。お店の前を通る方々はテントに興味津々で、「テントの中をみたい」とおっしゃられる方もいらっしゃいました。このように、皆の日頃の活動を披露できる機会があることは、大変光栄なことと思えます。協力して下さるNPO法人フィールドミュージアムifmaの南先生、森木先生には厚く感謝御礼申し上げます。

